

観音寺市地方創生総合戦略の進捗状況について (令和7年度実績)

1 調査方法

基本目標の「数値目標」、及び各具体的な施策の「重要業績評価指標（KPI）」の前年度実績を確認するとともに、KPI の進捗状況について、次の凡例により段階的に評価した。

【凡例】各年度の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」について、目標値に対する進捗度評価を行った。
実績値/目標値による達成度に応じて、主にA～Eの5段階で評価している。

- 「A」：(100%以上) 目標以上に進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「B」：(80%以上～100%未満) 目標に向け進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「C」：(50%以上～80%未満) 目標に向け概ね進捗しており、継続して事業を実施する。
 - 「D」：(25%以上～50%未満) 目標を下回っており、要因の分析をして事業を実施する。
 - 「E」：(25%未満) 目標を大きく下回っており、内容によっては目標値または事業見直しを要する。
 - 「－」：当該年度調査なし、統計調査未実施等により達成率の算出ができないもの。
- ※減少を目指す指標は目標値/実績値により算出。

2 調査結果

「基本目標」における「数値目標」の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況及び評価

基本目標 1 活力と魅力あるしごとづくり			
数値目標		実績値	目標値
就業者数（国勢調査） ※非正規、外国人を含む		27,327 人 （令和 2 年）	29,500 人 （令和 9 年）
令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年
—	—		

※ 国勢調査の結果による

（1）産業の成長を支える人材の育成・確保（意欲的な担い手や後継者の育成・確保）				
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
就職説明会の来場者数		72 人 （令和 4 年度）		150 人 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
93 人	88 人			C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
認定新規就農者数		28 人 （令和 4 年度）		30 人 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
20 人	19 人			C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
森林整備面積（累計）		0 ha （令和 4 年度）		1.5 ha （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
0.9ha	0.9ha			C

【関連施策の実施状況】

令和8年1月開催（令和9年3月大学等卒業予定者などを対象）の三豊市との合同就活フェアは、86事業所が参加した。例年3月に開催していたが、就職活動の早期化に対応するため、令和7年度は1月開催としたが、来場者数は前年度と横ばいであった。

また、香川大学「瀬戸内地域活性化プロジェクト」観音寺班と連携し、「地域企業探求フィールドワーク」を初めて実施した。学生の新しい視点やアイデアを活用し、市内企業が取り組んでいる事業の深掘りや企画立案等を行うとともに、発見した企業の魅力を学生自らがSNSで発信した。（市内企業5社に大学生7人が訪問した。）

認定新規就農者の農業用機械（育苗ハウス等）の整備に対する助成を要望のあった2人に行い、初期負担の軽減や経営発展・定着を図った。また、次世代を担う意欲ある認定新規就農者が自らの経営を確立する期間の資金（農業次世代人材投資資金・経営開始資金）として、要件を満たす3人に対し、補助金を交付した。認定新規就農者の令和7年度中の新規認定は3人であった。

大野原森林組合が有木地区及び田野々地区の森林で森林経営計画を策定した。今後5年間に渡り、策定した森林経営計画に基づいた森林整備（搬出又は切捨て間伐等）が実施される予定である。

【今後の取組について】

就活イベントは来場者数が減少している。特に新卒の学生の来場者数が減ってきており、対面式の就活イベントの需要が減ってきていると考えられるため、開催時期も含め、開催方法、開催場所等について見直しの検討が必要である。

認定新規就農者については、令和7年度中に認定期間を満了等の4人が認定農業者となり、地域農業の中心的な経営者として規模拡大等に努めてくれているが、本格的な高齢化社会の到来で、今後ますます担い手の不足・耕作放棄地の増加が予測され、認定新規就農者の発掘・育成は喫緊の課題となっている。

担い手の確保・育成のため、移住希望者の就農相談も行っているが、抜本的な対策はない状況である。魅力的で儲かる農業の仕組みづくりのため、引き続き各種政策を推進するとともに、農業分野を超えた連携を進めることが重要である。

令和7年度に策定された森林経営計画に基づく森林整備について、国庫補助に対する上乗せ補助をし、森林整備を支援する。

森林経営管理法が施行され、近隣市町も含め、森林整備が推進されることで、林業就業者の絶対数は増加に転じる可能性を秘めているが、一朝一夕には困難である。確実に事業実績を積み上げていく中から将来像を展望したい。

（2）起業創業支援や企業誘致の推進

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
利子補給制度の利用事業所数		72 事業所 （令和4年度）		150 事業所 （令和9年度）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
62 事業所	59 事業所			D
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
企業等誘致数		1 件 （令和4年度）		5 件 （令和5～9年度累計）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
4 件	8 件			A

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
製造品出荷額等（製造業全体）		197,139 百万円 （令和 4 年度）		206,000 百万円 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
206,899 百万円	210,098 百万円			A
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
創業者支援制度の利用者数 （累計）		29 人 （平成 30～令和 4 年度）		46 人 （～令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
33 人	30 人			C
【関連施策の実施状況】 利子補給については、令和 7 年度に新たに利子補給補助金を交付したのは 17 件であり、令和 6 年度に比べ減少し、全体としても減少した。 企業誘致については、香川県や市の助成制度の周知、企業立地フェアでの PR 等に努め、令和 7 年度は 4 件の立地が決定した。 創業者支援制度の利用者数については、ほぼ横ばいで推移している。創業後間もない人を対象に、売上確保のプロモーション等を学ぶことのできる「創業者 meet up」を初めて実施し、13 人が参加した。				
【今後の取組について】 利子補給制度の利用事業者数については横ばいで推移しており、引き続き制度の周知に努める。また、利用事業者数の増加に向けて、申請窓口となっている観音寺商工会議所、観音寺市大豊商工会へ聞き取りし、事業者のニーズを把握する。 企業誘致に関しては、紹介できる市有地が少なく積極的な誘致活動が出来ていないが、引き続き、助成制度の周知や首都圏でのフェアで PR を続けていく。				

（3）地域産業の競争力強化				
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
製造品出荷額等 （食料品製造業）		37,650 百万円 （令和 4 年度）		43,000 百万円 （令和 9 年度）
令和 6 年度公表 （令和 4 年分）	令和 7 年度公表 （令和 5 年分）	令和 8 年度公表 （令和 6 年分）	令和 9 年度公表 （令和 7 年分）	KPI の進捗評価
32,514 百万円	33,040 百万円			C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
「観音寺ブランド」認証の製品数 （累計）		25 件 （令和 4 年度）		35 件 （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
26 件	25 件			C

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
電子地域通貨（銭形Kマネー）の 決済額		0円 （令和4年度）		500,000 千円 （令和9年度）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
127,319 千円	109,908 千円			E
【関連施策の実施状況】 市役所1階モニターに常時、観音寺ブランド認証品のPR映像を流すなど広報活動に努めた。また、「香川×岡山つながる食の大博覧会」、「スーパーマーケット・トレードショー」、「よい仕事おこしフェア」などに認証事業者と共に参加し、観音寺市産品のPRや消費、販路拡大が図れるよう取り組んだ。認証品の新規募集により1品を追加し、7品の継続審査を行い再認定した。 電子地域通貨として、市内の加盟店のみで利用できる銭形Kコイン事業を実施し、市内経済の活性化を図ったが、チャージキャンペーン等のイベントを実施しなかったことから、年間決済額が令和6年度と比較して減少した。				
【今後の取組について】 現在認証を受けている事業者へのヒアリングを通じ、個別の課題に即した伴走型支援を実施することで、事業者の満足度向上と実効性のある商談機会を創出する。また、認証の意義や基準を再定義し、発信していくことで、ブランドとしての希少価値を確立し、「ブランド認証事業」の制度の質を高め、意欲ある事業者の新規参入と、認証品数の着実な拡大に繋げていく。 銭形Kコインアプリの登録者数は約6,800人いるが、アクティブユーザー数（1ヶ月の間に1回でも銭形Kマネーで決済したことのある人数）は約400人である。チャージキャンペーン等のイベントがあれば一時的に登録者数は増加するが、継続的な利用者の獲得には繋がっておらず、事業継続の必要性について検討する。				

基本目標2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり			
数値目標		実績値	目標値
合計特殊出生率		1.69 (H25～29)	1.70 (R5～R9)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1.59 (H30～R4)	—		
数値目標		実績値	目標値
子育てしやすいまちだと思う人の割合 (子育てアンケート)		42.7% (H31.3 実施)	60.0% (R6 実施予定)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
31.5% (R6 実施)	—		
数値目標		実績値	目標値
ファミリーサポートセンター援助回数		646 回 (令和6年度)	1,000 回 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
—	621 回		

(1) 子どもの成長を支える				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した児童の割合 (小学校)		40% (令和4年度) 23.0% (令和6年度)		100% (令和9年度) 80% (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
30%	87%			A
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した生徒の割合 (中学校)		40% (令和4年度) 18.8% (令和6年度)		100% (令和9年度) 80% (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
40%	90%			A

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市内小学校の 地域学校協働本部設置率		60%（6/10 校） （令和 4 年度）		100%（10/10 校） （令和 9 年度）
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
70% （7/10 校）	80% （8/10 校）			B

【関連施策の実施状況】

子どもの成長を支える取り組みとして、伊吹島での交流や体験学習を通して島の歴史や産業、生活の様子を直接学習するとともに、観音寺市の自然の素晴らしさを体験することを目的として、市内の各小学校の児童を対象に洋上学習を実施した。

また、異年齢集団での活動を通して自主性・協調性を養うとともに、ふるさとや自然への関心・愛着心が深まることを目的として、環境学習、工場見学、郷土料理作りなどの体験活動を実施した。幅広いジャンルに触れ、普段の生活や学校行事では体験できないような場を提供するとともに、指導者や体験場所については、地域の人々の参画・協力を得ることで、地域とのつながりを深めることができた。

さらに、小・中学校において、ICT 環境を整備するとともに、情報教育の充実と校務の効率化を目指し、教育のデジタル化を推進している。令和 7 年度は、統合型校務支援システムの本格運用を開始し、セキュリティポリシーを適切に満たした校務の DX 化を進めている。また、離島部である伊吹小中学校における GIGA スクール構想の実現に向けて、環境整備を行った。教室では学習支援ソフトと 1 人 1 台端末を活用し、協働学習や個々の理解度に合わせた学習が進められ、児童・生徒の情報活用能力が向上したほか、小学校では、ICT アドバイザーが主体となり、4 年生以上の学年全員を対象として、学年に応じた発展的なプログラミング学習を進めており、興味関心を示す児童が着実に増えている。

【今後の取組について】

洋上学習については、参加する児童が安全に学ぶことができるよう、気候や気温への注意が必要となることから、開催時期を検討する。また、現地学習以外でも、イリコ漁や文化を学習できる DVD を作製し、学校での学習ができるよう工夫する。

様々な体験活動の実施については、毎年参加する児童もいるため、これまでとは違う体験ができるよう計画したり、指導者を探し出したりすることが課題である。より多くの子どもたちに参加してもらえるよう活動内容を充実させていく。

小・中学校における ICT 活用に関しては、学校間の情報交換、研修等の学校への支援を強化し、児童・生徒と教職員の情報活用能力を高める。また、統合型校務支援システムは、より良い運用方法を探り、調整改善していくほか、出欠連絡システムについても、有効活用する方法を周知することにより、児童・生徒と向き合う時間を創出し、教職員の ICT 活用能力を高める。今後のデジタル教材の利用拡大等を見据え、より良い通信環境づくりについても検討したい。

（2）子育て支援・共同子育て推進

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
出生者数		343 人 （令和 4 年）		400 人 （令和 9 年）
令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	KPI の進捗評価
293 人	278 人			C

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
子育て支援センターの利用人数		32,016 人/年 （令和４年度）		47,000 人/年 （令和９年度）
令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	KPI の進捗評価
45,512 人/年	43,199 人/年			B

【関連施策の実施状況】

子育て支援については、生後４か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問（市保健師による訪問と香川県助産師会への委託）し、親子の心身の状況や養育環境等の把握と助言を行い、支援が必要な家庭に対する適切なサービスの提供につなげた。令和７年度実績は、訪問件数 283 件（うち助産師会の訪問 54 件）であった。また、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、おむつ、ミルクその他の育児関連用品の購入に対し、その一部を紙チケットまたは地域共通電子通貨により助成した。令和７年度の実績は、322 人（紙チケット 52.2%、電子チケット 47.8%）であった。

子育て支援センターでは、子育て親子の交流や、子育てに関する相談・育児の情報提供などを行い、子育てを応援している。「ほっとはうす萩」の令和７年度利用実績は 29,650 人であった。民間事業者が事業を行っている拠点施設については、令和７年度は 13,549 人が利用した。

放課後児童クラブでは、放課後に保護者が留守となる児童に対して適切な遊びや生活の場を与えることで、児童の健全な育成を図っている。伊吹小学校区を除く 9 校区において、公設は 13 教室、民設 5 教室で、令和７年度は定員を 70 人（公設 40 人、民設 30 人）増やして実施した。また、令和８年度からの運營業務委託に合わせ、ICT 化推進事業を活用し、公立 13 教室のインターネット環境を整備した。

【今後の取組について】

乳児がいる家庭への訪問は、核家族化や地域とのつながりの希薄化、対象家族の多様化により、子育て家庭が孤立しやすい状況が顕在化しているため、孤立を防ぎ、早期に必要な支援につなげることが重要である。訪問時には、家庭ごとのニーズに応じた柔軟な対応が求められるため、職員の継続的なスキルアップに取り組む。また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るための助成は、令和７年度から助成額を増額しており、今後もニーズを把握しながら事業を継続していく。

「ほっとはうす萩」については、引き続き魅力あるイベント等を行いながら、子育てで孤立することがないように、気軽に親子等が立ち寄れる居場所作りとして、リピーターの増加や新たな利用者の発掘に努めるとともに、同所における利用者支援事業（ほっと相談）との相乗効果につなげる。利用者の声に基づき、集客数の向上に努め、子育て支援拠点としての機能強化を図る。民間の子育て支援センターについても、同様にリピーターを増加するとともに、初めて参加した親子も孤立することがないように、センターの雰囲気づくりを心がけ、利用促進を図る。また、引き続き幅広い情報発信や保護者への案内を行うとともに、地域全体の子育て意識の向上にも努める。

放課後児童クラブは、対象児童が小学６年生までに拡大（以前は概ね 10 歳未満）したことや女性の就労率の高まり等により、児童数の減少に反し、利用希望が年々増加傾向にある。待機児童対策として、令和７年度に引き続き、他校区へのタクシー送迎支援事業を行う。また、特別に支援を要する児童も増加の一途で、専門性が求められる対応も限界に近い。民間ノウハウを活用し、保育サービスの充実や支援員への適切な指導を図る。

(3) 誰もが活躍できるまち				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
一般介護予防教室の参加実人数		368 人 (令和 4 年度)		400 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
360 人	350 人			B
【関連施策の実施状況】 誰もが活躍できるまちづくりにおいて、超高齢化社会の到来が迫る中、高齢者が自ら介護予防に取り組むことができる体制づくりを目指して、介護予防の普及・啓発を行うとともに、運動や社会交流・趣味活動を目的とした身近な通いの場の推進に取り組んだ。また、高齢者が自立した生活が送れるように、多職種と連携した支援体制づくりにも取り組んだ。 運動の普及啓発を目的とした健康運動指導士による介護予防教室（観トレ）は 3 会場で実施し、1 人月 1 回、延べ 3,314 人の参加があった。地域で活動する運動ボランティアの活動支援を目的に年 2 回観トレマスターフォローアップ講座を実施し、16 人のマスターが活動中である。また、歩いて通える身近な場所で、地域が自主的に介護予防に取り組むための「銭形貯筋体操」の立ち上げ支援や運営支援を実施し、令和 7 年度末で市内 25 か所で立ち上がっている。さらに、高齢者の自立支援やリエイブルメントを目指してリハビリ専門職との検討会を年 3 回行ったほか、具体的な仕組みづくりに向けてワーキンググループも立ち上げた。				
【今後の取組について】 移動手段に課題がある高齢者が多い中、歩いて通うことができる身近な居場所の普及が大切になっているが、地域でリーダーとして活躍するボランティアの高齢化や人材不足が顕著であり、通いの場の更なる普及や持続可能な仕組みづくりが課題である。身近な地域での居場所づくりを担うボランティアの養成を行うとともに、地域で活躍する専門職や民間企業との連携を強化することで、多様な主体による介護予防の普及・啓発を目指す。				

(4) 女性が働きやすい職場環境の整備				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数		32 事業所 (令和 4 年度)		42 事業所 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
41 事業所	43 事業所			A
【関連施策の実施状況】 第 2 次観音寺市男女共同参画計画に基づき、互いの人権を尊重しつつ男女がともに活躍するまちづくりをめざし、庁舎等における啓発ポスターやパンフレットの配置を行った。11 月には「女性に対する暴力をなくす運動」（12 日～25 日）期間として、市内図書館に「パープルリボン」（女性に対する暴力根絶のシンボルマーク）などを飾り付けたシンボルツリーを設置するなど、意識啓発を行った。				
【今後の取組について】 第 2 次観音寺市男女共同参画計画の周知等、情報発信の充実を図る。				

(5) 結婚を希望する男女を応援する環境づくりの推進				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
かがわ縁結び支援センターの登録者数		51 人 (令和 4 年度)		60 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
52 人	43 人			C
【関連施策の実施状況】 結婚を希望する独身者に向けた新たな出会いを後押しするため、縁結び支援センター登録支援として縁結びマッチング会員の入会登録料 1 万円の 2 分の 1 を市が負担しており、令和 7 年度の利用者は 14 人であった。また、縁結び支援センター等が主催する講演会や婚活イベントについて、ポスターの掲示や SNS での周知を行った。 婚活イベントに関する補助については、商工会等の実行委員会が開催する婚活イベント（クリスマス集い、はるこい）に助成を行った。				
【今後の取組について】 縁結びマッチング会員の登録者数が減少しているため、縁結び支援センター主催のイベント等に関する情報とあわせて、入会登録料支援の取り組みについても、チラシや広報紙への掲載、SNS による発信等により、周知の強化に努め、利用者の増加につなげる。結婚支援については、地域の人々や事業所などのサポートも必要であり、かがわ縁結び支援センターと協力して、市内事業所等に応援団体（出会いの場所や機会の提供などを行う）への登録についての周知を図る。				

基本目標3 新たな交流を生むまちづくり			
数値目標		実績値	目標値
観光客数		117 万人 (令和4年度)	160 万人 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
167 万人	165 万人		

(1) 観光・交流人口の拡大				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
道の駅(2か所)の総売上額		112,538 千円 (令和4年度)		150,000 千円 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
122,601 千円	119,957 千円			C
【関連施策の実施状況】 本市の魅力を広くPRし観光客の増加を図るため、観光パンフレットやPRポスターの増刷・改訂、観光PR看板の設置などを定期的に行っている。令和7年度は、高松空港設置のPRブースにパンフレット等を配置し、PRを実施した。 また、観光行政を推進するための中心母体である観光協会への支援を行っており、近年リニューアルした観光協会のHPでは、「観光スポット」・「グルメ」・「遊び」・「宿泊」・「おみやげ」など、それぞれのスポットやイベント情報の発信を実施している。 さらに、香川県や地元関係者等と連携し、瀬戸内国際芸術祭2025の円滑な運営に努めた。秋会期の伊吹島において、アート作品が展示され、多くの人が来場した。来場者に島の歴史・風土を感じてもらえるよう、地域と連携して島の名産であるイリコを使用した弁当を販売するなど、「食」のPRにも取り組んだ。 アニメコンテンツを活用した取り組みについては、本市を舞台とするアニメの上映会を行った。				
【今後の取組について】 引き続き、効果的な観光宣伝が行えるよう情報発信手法の検討を行う。また、観光協会の法人格取得及びDMO化に向けた支援を行うとともに、事務所移転をハード・ソフト両面から進めていく必要がある。 瀬戸内国際芸術祭については、次回開催に向けた効果的な情報発信や、市内の混雑を防ぎ、来場者が安心して伊吹島へ向かえるような誘導、円滑な運営に努める。また、開催されない中2年間も「Art Setouchi」が開催されており、伊吹島においても屋外作品が数点展示されるため、県や市の実行委員会と連携してアートを媒体とした継続的な観光誘客を行う。 アニメコンテンツを活用した取り組みについては、令和3年に設立した官民共同の実行委員会を中心として、引き続き、聖地巡礼によるコンテンツツーリズムの推進や他の観光資源とのマッチングを図るなど、新たなファン及びリピーターの増加を図る。				

(2) 関係人口の創出				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
がんばれ観音寺応援隊の隊員数		230 人 (令和 4 年度)		270 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
255 人	263 人			B
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
ふるさと納税の寄附金額		1,591 百万円 (令和 4 年度)		2,100 百万円 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
2,114 百万円	2,070 百万円			B
【関連施策の実施状況】 シティプロモーション事業として、東京有楽町駅前広場で「かんおんじフェア」を実施した。フェアに先立ち、「がんばれ観音寺応援隊」に向けてフェアの情報を発信し、周知に努めた。当日は、市内事業者による特産品の販売や、市による移住相談、観光情報の紹介、ふるさと納税のPRを行った。また、本市の知名度やイメージの向上につながる活動を行う「ふるさと応援大使」らによるステージイベントを行い、市内事業者によるクイズ形式の商品紹介や市のプロモーションを通じて、本市の魅力発信を図った。 ふるさと納税の推進については、返礼品やポータルサイトの追加、新規寄附者の獲得施策を実施したが、前年度と同程度の寄附額にとどまった。しかし、寄附金受領証明書の発送及びワンストップ特例申請の受付業務を外部委託することで事務の効率化を図るとともに、ワンストップ特例の電子申請を採用するなど利用者の利便性の向上に努めた。加えて、返礼品にシティプロモーション冊子や市内の風景写真を用いたカレンダーを同封することにより、本市の魅力をPRし、関係人口の創出につなげている。				
【今後の取組について】 シティプロモーション事業では、令和 8 年度も引き続き、東京有楽町駅前広場において「かんおんじフェア」を実施する予定であるが、より効果的なフェアとなるよう、複数日開催や三豊市との連携も検討するとともに、広く周知をする必要がある。また、フェア当日の単発的な繋がりにとどまらず、フェアを通じて関係人口を創出できるよう、継続的な繋がりを持つための取り組みについても検討していく。 「がんばれ観音寺応援隊」は、次年度からの「ふるさと住民登録制度」への移行に向けて、隊員リストの精査に努める。 ふるさと納税については、地場産品基準や募集経費等に関する制度の厳格化が進む中、基準を遵守し、適切な制度運用に努める必要がある。今後は、返礼品だけで選ばれるのではなく、本市の取組や地域の魅力に共感し、「応援したい自治体」として選んでもらえるよう、効果的な情報発信や寄附者との継続的な関係構築を進め、安定的な寄附獲得につなげていく。また、ふるさと納税で得た繋がりを活用し、シティプロモーションや関係人口創出の取り組みを強化していく。				

(3) 学校との連携				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数		22 事業 (令和 4 年度)		36 事業 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
35 事業	65 事業			A
【関連施策の実施状況】 小・中学校では、地域の事業所の見学等により地域の自然や産業、人々の営みに触れることで、教科等の枠にとらわれない総合的な学習活動を実施した。 大学との連携については、本市で不足している年齢層の大学生が、市内の地域資源を積極的に活用し、市の情報発信や交流の拡大を図る地域活性化事業に取り組んでいる。令和 7 年度も引き続き、香川大学の「瀬戸内地域活性化プロジェクト観音寺班」の活動を支援し、「市内企業の人材確保」をテーマとして、学生が市内企業へのインタビュー等を行い、その内容を基に観音寺市企業情報サイトの充実を図る取組を実施した。				
【今後の取組について】 小・中学校では、教科等の枠を超え、児童・生徒が自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や能力などを育むため、各学校において創意を凝らし、地域や学校、児童・生徒の実態等に応じて、それぞれ特色のある教育活動を実践していく。 大学との連携については、令和 8 年度も引き続き、企業情報サイトの更なる内容充実や魅力発信を図るとともに、学生独自の視点を活かした取組や企業課題への具体的な対応策の提案について、更なる内容充実を図る必要がある。				

(4) 移住希望者に向けての情報発信及びフォロー				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
転出者数に対する転入者数の割合		89.5% (令和 4 年)		100%以上 (令和 9 年)
令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年	令和 9 年	KPI の進捗評価
93.3%	90.8%			B
【関連施策の実施状況】 移住定住支援については、関連する補助制度及び子育て・教育施設の情報等を掲載した「移住・定住支援パンフレット 2025」を作成し、窓口等での配布や HP 掲載を行った。また、大阪・東京で開催された移住フェアや移住体験ツアー等において、本市の概要や移住支援制度の紹介を行い、移住希望者への情報発信を実施した。 空き家バンク制度においては、空き家所有者と売買・賃貸希望者をマッチングし、市民の定住促進や空き家の利活用・流動化を図ることができた。令和 7 年度の成約 31 件中、県外在住者による成約は 9 件であった。また、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム補助金を活用し、リフォームや不要物撤去に係る費用の一部を補助することで、物件登録や成約の促進につなげた。(リフォーム 11 件、不要物撤去 10 件。)				

【今後の取組について】

本市を移住先として選んでもらうため、市 HP、移住・定住支援パンフレット及び SNS などで移住希望者向けの情報発信を継続するとともに、掲載内容の充実や分かりやすい発信に努める。また、奨学金返還支援事業などの若者向け支援制度についても、企業や大学等とも連携しながら広く周知を行い、若年層の定住促進につながる効果的な事業実施を図る。さらに、二地域居住に関する取組を開始し、本市との継続的な関わりを持つ関係人口の創出・拡大に努める。

空き家バンク制度については、市内不動産業者に制度の周知及び協力依頼を継続するとともに、空き家バンク事業者登録制度を活用し、情報提供が可能な体制づくりを進めることで、空き家の解消を図る。また、空き家所有者等に向けて、広報紙、市 HP、固定資産税納税通知書へのチラシ同封等により、制度の周知を継続し、新規登録件数及び成約件数の増加につなげる。さらに、令和 8 年度からは空き家リフォーム事業補助金の要件見直しを行い、空き家バンク登録物件の更なる利活用促進を図るとともに、安全性が確保された空き家の活用を推進する。

基本目標4 持続可能なまちづくり			
数値目標		実績値	目標値
住宅の新築戸数		230 戸 (令和4年度)	250 戸 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
222 戸	139 戸		

(1) 周辺市町との連携				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
広域連携事業数		3 事業 (令和4年度)		15 事業 (令和5～9年度累計)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPI の進捗評価
5 事業	7 事業			D
【関連施策の実施状況】 四国まんなか交流協議会において、観音寺市、四国中央市、三好市の3市が連携して以下の取り組みを実施した。 関係人口創出事業：3市内外の関係人口及び交流人口の拡大を図ることを目的に、各市で開催されているイベント等に協議会としてブース出展を行い、合同シティプロモーション活動を実施した。 プロモーション推進事業：各市のシティプロモーションと関係人口創出のために、3市の広報紙12月号に観光スポット等を掲載した。 ネットワーク促進事業：職員等交流研修会を予定していたが、衆議院解散総選挙の影響により令和8年度へ延期となった。				
【今後の取組について】 様々な手法で3市の連携や四国中央地域の活性化を図るため、各市の負担金で実施できる効果的な事業内容・事業数を検討する必要がある。令和8年度も3市が連携し、関係人口創出事業として、3市圏外でのシティプロモーション活動等を実施する。また、令和7年度に引き続き、各市の広報紙を活用したプロモーション推進事業や、延期となったネットワーク促進事業にも取り組み、3市内外での交流促進を図る。				

(2) 地域コミュニティの活性化				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
NPO法人などの 市民活動団体（法人）数		15 団体 (令和4年度)		25 団体 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPI の進捗評価
21 団体	22 団体			B

【関連施策の実施状況】

自治会活動の均衡ある発展と活動の充実や住民自治の発展等を図ることを目的として、自治会活動補助金を交付している。

また、三世代交流を通じて地域住民が自由に参加し、コミュニティ活性化につながる地域サロン活動を支援する事業では、令和7年度の実施団体が増加し43件であった。

市民団体等活動促進事業では、ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体等が行う地域の課題を解決するための自主的な活動等を支援している。令和7年度は申請のあった3団体に補助金を交付し、市民活動団体を主体としたまちづくりの推進と地域の活性化につなげている。

地域おこし協力隊については、受入体制強化を図るため、受入団体の選定を行うとともに、協力隊員の募集及び採用に係る業務を外部委託により実施した。専門的知見を有する事業者のノウハウを活用することで、募集情報の発信力向上や応募者層の拡大につながり、実際に隊員の募集・採用を実現することができた。

【今後の取組について】

自治会活動については、自治会員1世帯あたり1,700円の補助金があることを引き続き周知し、支援を継続する。

地域サロン活動については、活動件数が増えてきたため、今後も支援を継続する。

市民団体の活動については、新規の市民団体の発足が少ないため、市民活動団体の活動を幅広く市民に周知し、活動内容を理解してもらい、誰でも参加できる体制や利用しやすい環境づくりを推進する。

地域おこし協力隊については、採用後の隊員に対するフォロー体制や活動評価の仕組み、任期終了後の定住・定着支援について、充実させていく必要がある。今後は、隊員の活動状況の定期的な把握と評価を行い、課題の早期把握・改善につなげるとともに、任期終了後の起業・就業支援や関係人口化を見据えた定住促進施策の充実を図る。

(3) 住民の住みやすさ向上

重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
のりあいバス利用者数		159 人/日 (令和4年度)		250 人/日 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
163 人/日	162 人/日			C
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
空き家バンクの利用(成約)件数		20 件 (令和4年度)		30 件 (令和9年度)
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
32 件	31 件			A

【関連施策の実施状況】

のりあいバス運行事業では、交通空白地域・不便地域の住民の外出機会の促進や、市民の福祉の増進のため、市内5路線（伊吹線を除く）を運行した。運行経路においては、一部区間を除いて自由乗降を採用しているほか、HPにバスの位置情報を表示するなど、利便性向上の取り組みを行った。

空き家対策については、老朽化して倒壊のおそれがある空き家等について除却を促進し、地域の住環境の向上を図るため、老朽危険空き家の除却を行う人に一部助成を行った。また、管理不全な空き家については、所有者等へ適切な管理・活用について働きかけるとともに、広報紙やHPなどを活用した周知を行った。

空き家バンク制度については、空き家所有者と売買・賃貸希望者をマッチングし、市民の定住促進や空き家の利活用・流動化を図ることができた。また、空き家バンクの利用を促進するため、空き家リフォーム補助金を活用し、リフォームや不要物撤去に係る費用の一部を補助することで、物件登録や成約の促進につなげた。（リフォーム11件、不要物撤去10件。）

【今後の取組について】

のりあいバスについては、市民の交通手段としての利便性を確保しながら、広域的な視点で市民ニーズに対応した効率的な運用となるよう、適宜運行計画の見直しを実施する。また、乗降調査や時刻表の適正化等により、路線再編及び利便増進の取り組みを推進する。

空き家対策については、管理不全となっている空き家の所有者等への継続的な働きかけや広報啓発活動を行う。従来からの市内老朽危険空き家の除却費用の一部に対する補助金交付に加え、周辺住民に影響を及ぼす空き家所有者等に対する、適正管理の働きかけを強化するほか、空き家を放置するリスクや空き家の管理等についてのパンフレット配布や固定資産税納税通知書への啓発チラシの同封、HPでの情報発信を強化する。

空き家バンク制度は、市内不動産業者とも連携しながら空き家バンクへの登録を促し、空き家の流動化を推進するとともに、空き家バンク事業者登録制度を活用し、情報提供可能な体制づくりを進めることで、空き家の解消を図る。また、空き家の所有者等に向けて、広報紙、市HP、固定資産税納税通知書へのチラシ同封等により、制度の周知を継続し、新規登録件数及び成約件数の増加につなげる。さらに、令和8年度からは空き家リフォーム事業補助金の要件見直しを行い、空き家バンク登録物件の更なる利活用促進を図るとともに、安全性が確保された空き家の活用を推進する。

（４）情報提供と広聴広報活動の強化

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式 Facebook のフォロワー数		3,295 人 （令和4年度）		3,500 人 （令和9年度）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
3,387 人	3,536 人			A
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式X（エックス）の フォロワー数		5,895 人 （令和4年度）		7,000 人 （令和9年度）
令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	KPIの進捗評価
6,493 人	6,576 人			B

重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式 Instagram のフォロワー数		2,145 人 (令和 4 年度)		4,000 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
3,072 人	3,741 人			B
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市公式 LINE の登録者数		5,697 人 (令和 4 年度)		15,000 人 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
9,407 人	10,518 人			C
重要業績評価指標（KPI）		実績値		目標値
市ホームページへのアクセス件数 (1 日平均)		5,027 件 (令和 4 年度)		7,000 件 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
4,491 件	4,718 件			C
【関連施策の実施状況】 広報紙は、読みやすく魅力的な紙面作りをめざして制作し、令和 7 年度香川県広報コンクール（写真部門）で最優秀賞を受賞した。HP では、職員向けに毎月のアクセス数を掲載し、各課の情報発信を促した。また、LINE は、各課の継続した情報発信や合併 20 周年記念カウントダウンフォートの掲載、国勢調査員との連絡手段としての活用もあり、登録者数が 1 万人を超えた。 フェイスブックでは、利用者が多く、来県者数も増加している台湾・香港に向けて動画広告を配信し、インバウンドの取り込みを図った。Instagram においては、市内で撮影された写真を「#かんおんじふおと 2025」キャンペーンで募り、入賞写真を使用したカレンダーを製作してふるさと納税の返礼品に同梱することで市の魅力の発信に取り組んだ。また、ショート動画募集キャンペーン「#かんおんじハンター」を開催し、投稿作品のリポストを行うことで、動画コンテンツを拡充した。				
【今後の取組について】 広報紙は情報量が多いが、どの年代の人にも読みやすく分かりやすくするため、リニューアルを行い、レイアウトの見直しを行う。職員向けの研修を行い、伝わりやすい広報物の制作方法、SNS や HP の活用について理解を深める。 フェイスブックでは、令和 8 年度も引き続き、台湾・香港に向けて動画・静止画広告を配信する。Instagram では、リポストが主な発信となっており、市主体の発信が少なくなっていたため、リポスト機能を有効に活用しつつ、職員も積極的に市内の観光スポットへ足を運び、撮影・投稿するよう努める。				

(5) デジタル行政の推進				
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
オンライン化した行政手続数		19 件 (令和 4 年度)		52 件 (令和 9 年度)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
27 件	35 件			C
重要業績評価指標 (KPI)		実績値		目標値
高齢者向けスマートフォン教室の 参加者数		207 人 (令和 4 年度)		1,000 人 (令和 5 ～ 9 年度累計)
令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	KPI の進捗評価
401 人	562 人			C
【関連施策の実施状況】 全国的に展開されているマイナンバーカードを利用したびったりサービスを利用するとともに、デジタル行政を推進するため、独自にグラファースマート申請を利用し、オンライン化できる行政手続をさらに拡充した。また、スマホ教室では基本的な操作などの説明に合わせ、市の公式 LINE などの広報にも努めた。				
【今後の取組について】 マイナンバーを利用したびったりサービスやグラファースマート申請について、利用をさらに進めるため、周知や業務改善が必要である。他の地方公共団体の事例を紹介し、効果が出ている手続きを主としてオンライン化を進めていく。また、スマホ教室については、効果の低減が見られるため、予算なく実施できる出前講座に切り替えて実施する。				

○重要業績評価指標（KPI）の評価一覧（令和7年度分 全34件）

A評価・・・8件

「企業等誘致数」、「製造品出荷額等（製造業全体）」、「授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した児童の割合（小学校）」、「授業でPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日利用した生徒の割合（中学校）」、「かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数」、「市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数」、「空き家バンクの利用（成約）件数」、「市公式Facebookのフォロワー数」

B評価・・・9件

「市内小学校の地域学校協働本部設置率」、「子育て支援センターの利用人数」、「一般介護予防教室の参加実人数」、「がんばれ観音寺応援隊の隊員数」、「ふるさと納税の寄附金額」、「転出者数に対する転入者数の割合」、「NPO法人などの市民活動団体（法人）数」、「市公式X（エックス）のフォロワー数」、「市公式Instagramのフォロワー数」

C評価・・・14件

「就職説明会の来場者数」、「認定新規就農者数」、「森林整備面積（累計）」、「創業者支援制度の利用者数（累計）」、「製造品出荷額等（食料品製造業）」、「『観音寺ブランド』認証の産品数（累計）」、「出生者数」、「かがわ縁結び支援センターの登録者数」、「道の駅（2か所）の総売上額」、「のりあいバス利用者数」、「市公式LINEの登録者数」、「市ホームページへのアクセス件数（1日平均）」、「オンライン化した行政手続数」、「高齢者向けスマートフォン教室の参加者数」

D評価・・・2件

「利子補給制度の利用事業所数」、「広域連携事業数」

E評価・・・1件

「電子地域通貨（銭形Kマネー）の決済額」